

選挙の投票率

投票率アップに向けた 取組や対策は

答弁…市選挙管理委員会では、粘り強く地道な啓発活動を進めております。若年層への啓発活動については、今後インターネット等の利用も含め、創意工夫を凝らした啓発活動を進めてまいりたいと考えております。

酒巻 ふみ 議員

酒巻 4月に行われた埼玉県議会議員選挙や加須市議会議員選挙の投票率は、前回の選挙と比較すると下がっています。投票率の低下には様々な要因があり、投票率を上げることは大変ですが、投票率アップに向けた取組について伺います。

また、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられ、来年の参議院議員選挙から適用されることとです。若者の投票率アップはこれからの課題であります。関心を持ってもらうための対策をお伺いします。

選挙管理委員会事務局 局長

市選挙管理委員会では、広報車や防災無線による投票の呼びかけ、広報紙等での啓発、スー

ふるさと定住

にぎわいのある加須市 を目指すために

答弁…加須市が今まで皆様方と一緒に積み重ねてきた様々な事業を改めて市民の皆様や市外の方にアピールし、加須市本来のまちづくりの政策をPRすることで、にぎわいを更に高めてまいります。

森本 寿子 議員

森本 現在、本市では、地方版総合戦略と一体となった後期基本計画の策定に取り組んでいます。策定にあたっては、若者の声を施策に反映していただくとともに、市の魅力をアピールするため、全国移住ナビや市のホームページを活用し、子育てをしたい、住みたいと思えるような情報を発信して、若者や市外からの移住者を呼び込み、にぎわいのある加須市を目指したいと考えていると思います。

総合政策部長 全国移住ナビにつきましては、本市においても市町村が管理するローカルホームページに既に必要な情報を掲載しており、今後も随時情報を追加していく予定でございます。市のホームページを活用した移住者向けのPR活動につきましましては、本市の特色ある取組やアピールポイントを分かりやすくPRするページを近々掲載する予定でございます。

市長 加須市が今まで皆様方と一緒に積み重ねてきた様々な事業を改めて市民の皆様や市外の方にアピールし、環境や子育て等、それぞれの分野で加須市本来のまちづくりの政策をPRすることで、にぎわいを更に高めてまいりたいと考えております。そのような趣旨で計画の策定を進めているところでございます。

地域医療

総合病院の誘致についての 考えは

答弁…病院誘致は病床規制があり、困難な状況でございます。市内の医療機関では医師確保に苦慮していることから、医師の確保をきちんと行っていくための支援をしていくことが、当面の責務であると考えております。

竹内 政雄 議員

竹内 今回の地方統一選挙で、市街地の多くの市民の皆様と直接お話しする機会があり、その中で特に多かったのが、地域医療に対する不安の声でした。市民の命と健康にかかわる問題こそが、市政の中で最優先に取り組むべき課題と思っております。

厚生労働省は医療費抑制の考えの下、今後病床の増加は認めない方針であることは認識しております。病院誘致は非常に厳しいことは承知していただきますが、市民の皆様から要望の多い総合病院の誘致について、考えをお伺いします。

市長 市民の間に医療問題については不安感があることは承知しております。ですが、基本的な問題はやはり医師不足であると存じます。市内の既存の医療機関でも医師確保に大変苦慮されており、まずはこの課題をきちんと解決することが大切であると考えております。一方、病院誘致には、病床規制の点があり、この地域ではベッド数を増やしたくても、規制によりできない状況でございます。平成30年に埼玉県内に新たに医師養成機関ができるということであり、市内の医療機関に医師派遣がされるよう取り組むとともに、周辺の既存の中核病院等において、医師の確保をきちんと行っていただけのような支援をしていくことが、当面の私の責務であると考えております。